

授業の達人!

～「机間指導」の巻～

子どもたちの様子を丁寧に見取り、
授業の質が高まる机間指導とは?

「授業の達人!」は、
授業の基本的なスキルを
ビジュアルな紙面でシンプルに
お伝えしていくシリーズです。
日々の授業改善の参考にして
いただければ幸いです。

学習場面によって
意図も変わる!

導入

本時に取り組むべきことを、全員が理解できているかどうかを見て回る。

そのためにも、めあてや課題と解決の見通しを、ノートに書かせるとうい。

赤ライン →

個別解決

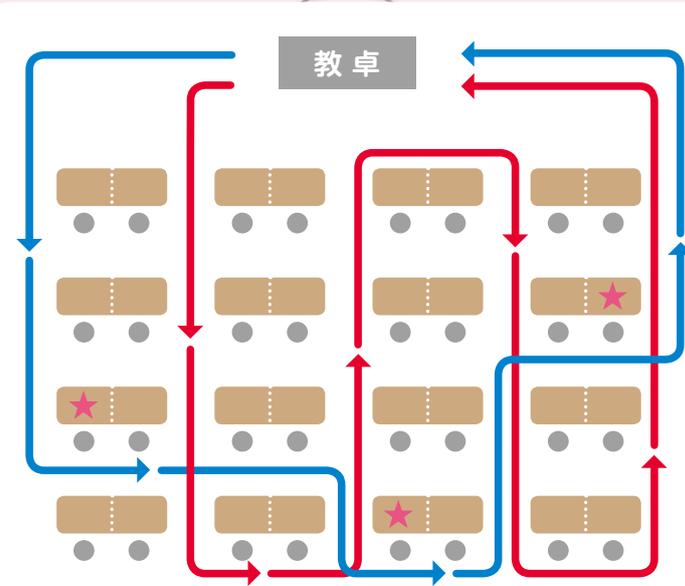
ノートなどに自分の考えを書いたり、問題解決の過程を書いたりしている様子を見て回る。

子どもたちの全体的な傾向を捉えて、後半の話し合いの進め方を考える。

赤ライン →

つまずきことが予想される子どもたちを意図的に回り、助言や支援をする。

青ライン →



★個別指導や支援が必要な児童

一斉指導 の場合

パターン

1 全体の学習状況を把握する。

赤ライン →

授業のペース配分や、進め方の修正に生かす。

2 個別に指導・支援する。

青ライン →

つまずきことが予想される、あるいは簡単に課題を解決してしまう子どもには、その子に必要な助言や支援を行う。

3 子どものニーズに応じる。

「できた人・困った人は手を挙げる」という約束をしておき、子どもが教員の助言を求めるときに、指導に向かう。

話し合い

一人ひとりの子どもが、友達に自分の考えを伝えることができているか、また、友達の意見を聞く姿勢で見ながら、「〇〇さんの意見に何か質問はないの?」などといった示唆をして回る。



その3

助言をする際は、子どもの視線や目の高さに合わせる。



子どもの横に寄り添って、一緒に考える姿勢・雰囲気を出す。

その2

机間指導の時間は、先生が落ち着いて考える時間と捉える。



この時間に子どもの学習状況を把握し、後半の授業展開を考える。

その1

考え方のパターンを予想し、記号化してメモを取る。



どの子どもがどのような考え方をしているかを、すばやく記録に残しやすい。

達人直伝!
机間指導テクニク





「机間指導」は、 何のためにするのか？

子ども一人ひとりの学びの
状況を把握して支援したり、
全体の傾向を捉えたりするため。
どこまで理解しているか。

全体が同じような考え方が。

いくつかのパターンに分かれるか。

学び合いの展開をイメージする。

↓見通しを立てる。

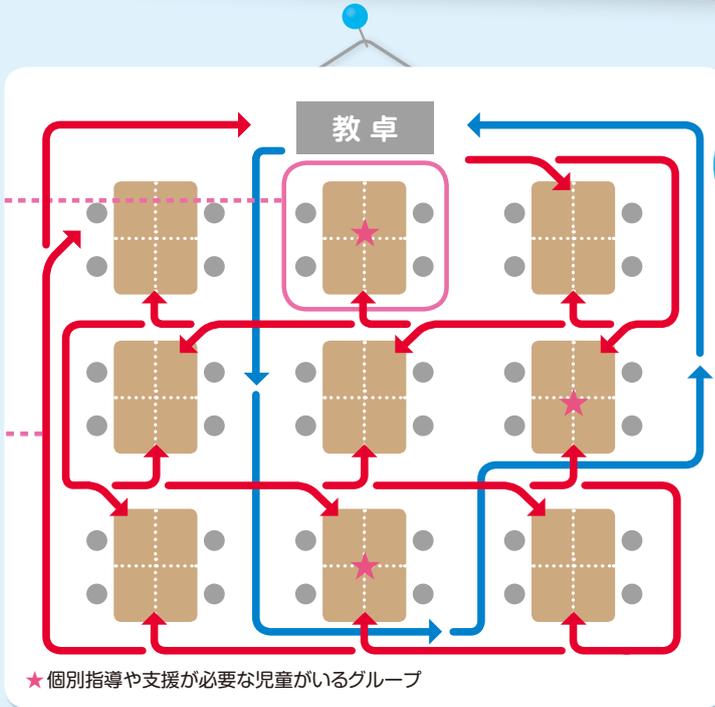
机間指導を効率よく
行い、子どもが学習内
容の理解を深めるため
の指導・支援って、ど
うすれば実現できるの
でしょうか。

「机間指導」ですから、
ただ机の間を歩くので
はなく、何らかの指導
の意図をもって回るこ
とが大切です。

私は、授業内容を想
定し、事前に指導する
子どもを決めておくよ
うにしています。

学習の導入、子ども
が自力で解決している
とき、小集団で話し合っ
ているときなど、場面
によっても、子どもた
ちの反応の見方や助言
の仕方を変えています。

グループワーク の場合



★支援が 必要なグループ

あらかじめ教員の近くの
席にしておく。

横に流れる パターン

黒板のほうを見る子どもた
ちの表情や活動を確認しな
がら、机間指導しやすい。

【インタビュー】

ベテラン先生に、机間指導
のポイントを伺いました！

効率性を上げるために

机間指導を効果的なものにする前提として、グ
ループワークをさせるときのメンバーを意図的に
構成しておくとういことです。リーダー的な子どもを、どこ
のグループにも配置しておき、机間指導時の指示はその子
に伝えるようにすると、効率よく全体に広められますよ。



「お客さん」にしないために

グループワークでは、リーダーシップを発揮す
る子どもが活動を進めがちになりますよね。中
には活動に参加せず、「お客さん」的に時間を過ごしてしま
う子どもも現れるので、その可能性を予想し、机間指導の際
に意識して助言をして回るようにしています。



パターン

1 全グループの学習状 況を把握する。

赤ライン →

作業の準備が整っているか、
メンバーの役割分担ができて
いるかなど、活動を始める前
に把握する。

2 個別に指導・支援 する。

青ライン →

活動にあたり、まず、支援が必
要と思われるグループに直行する。

3 トラブルを 未然に防止する。

青ライン →

理科の実験などで、危険な行
為や事故が予想されるときには、
迅速に対応できるように、全体
を見渡しながら回る。

事前におさえておきたい 4 つのポイント

4 安全面に配慮して 環境を整える。



3 支援する児童の 重点を決めておく。



2 机間指導の 計画を立てる。



1 前時までの個々の 学びを整理しておく。

